

## 令和6年2月29日付栗子山風力発電事業の中止を求める要望書 に対する回答

再生可能エネルギー発電事業と地域の自然環境、歴史・文化的環境等との調和を図ることが重要と考えております。

特にイヌワシについては、国内希少野生動植物種であるほか、環境省のレッドデータブックにおいて、絶滅危惧種に位置づけられており、将来に亘って生息地を保全していく必要があると考えております。

栗子山風力発電事業の計画地及びその付近では、イヌワシの飛翔が確認されており、そのため事業者は準備書作成後も生息状況調査を実施していると聞いております。

県としてもイヌワシの生息状況調査を実施し、飛翔や営巣等の状況の把握を進めているところです。

また、制度上、準備書については、環境影響評価審査会において審査がなされることとなりますが、その際には、これらの調査結果も併せて審査いただく予定としております。

審査会終了後には、この審査会からの意見を聴いた上で、知事として環境保全の見地から意見を述べてまいりたいと考えております。